

0012248281
岸田 翔太
2011/02/03 1

手術記録

【手術日】 2012/02/09 (年齢 : 01 歳 00 月)

【術前診断】 右先天性頸部遺残軟骨 (両側停留精巣)

【術後診断】 右先天性頸部遺残軟骨 (両側停留精巣)

【術式】 皮下腫瘍液出術

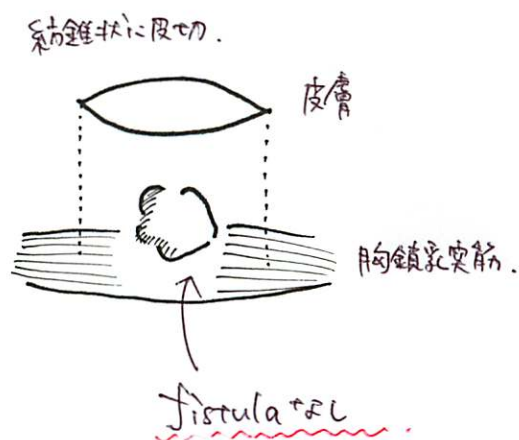
【体位】 仰臥位

【術者】 柴田涼平 【助手】 東間未来、大場豪

【手術時間】 14 分

【麻酔方法】 全身麻酔 【出血量】 少量 【輸血】 なし

【内容】



【Short summary】

出生後1ヵ月で指摘された皮下腫瘍。右胸鎖乳突筋上の下1/3レベルに存在する小豆大の硬結で、炎症所見や圧痛なし。右先天性頸部遺残軟骨の診断。1歳になるまで増大傾向も認めず、手術となった。

【手術所見】

01. 全身麻酔+局所麻酔、仰臥位で施行。肩枕を入れ頸部を伸展させた。
02. 1.0%キシロカインで局所麻酔。腫瘍直上で紡錘状に皮切を置いた。切り取った皮膚をモスキート鉗子で挙上し、皮膚と皮下組織と腫瘍を一塊に摘出しようとしたが、皮切が腫瘍直上からずれたので、腫瘍自体をコッヘル鉗子で直接把持し、曲鈍眼科剪刀で周囲組織を削ぎ落としながら円柱状に組織をくり抜いていった。胸鎖乳突筋との付着部が明らかになったので、瘻孔の存在を考慮しながら付着部を切離し腫瘍を摘出した。瘻孔は存在しなかった。
03. 4-0 vicrylで皮下の脂肪組織を寄せ、皮膚は5-0 PDSで埋没縫合とした。終刀。